

小6：社会

単元名：「世界の未来と日本の役割」

時	主な活動	成果・子どもたちの様子	備考
0	<p>【家庭学習】反転授業 #1 NHK 動画を視聴し、「国連、ODA、NGO 等」国際協力に関する事柄について、概要を理解する。</p>	<p>・事前に動画を視聴し、簡単な質問に答えることで、教科書の重要語句（国際協力・国際連合・ODA.NGO など）についてある程度理解できている状態で授業に臨むことができた。そのため、補習校ならではの早いスピードでの授業にもついていくことが可能となった。</p>	<p>・反転授業を行う時には、授業内容に合った動画を探す必要がある。 ・動画についての質問づくりは、日本語力に課題がある子ども達でも必ず答えられるように、選択式や数字で答えられるように工夫をする。</p>
1	<p><めあて>ズバリ！国際協力とはなにかを理解する。 ①反転授業 #1（授業シート #1）の答え合わせを行い、以下の内容を理解する。 ・世界にある様々な課題 ・国際連合について ・日本の国際協力（ODA・NGO） ②発展途上国と日本の繋がりを理解した上で、国際協力とは何かをまとめる。</p>	<p>・借用校舎の大型スクリーンが使用できたため、デジタル教科書上にある短い動画や教師が用意をしたニュース動画などの映像資料を、非常に鮮明に映すことができた。映像資料を活用することで、文字だけでは理解することが難しい子ども達にとって、分かりやすい授業になったと思う。 ➡子ども達は映像資料が始まると食い入るように見つめていた。 ・「日本語の目標」で掲げている語彙の短冊を準備し、子ども達に分かりやすい図式化された板書をするように工夫した。 ・短冊を用意しておく、実際の授業で板書をする時間を短縮できるため、授業進行がスピーディーに行えた。 ・色分けされている短冊と板書を組み合わせることで、子ども達にとっては「どの言葉が大切なのか？」が視覚的に分かりやすかった。</p>	<p>・コロナ感染予防対策として机上スクリーンを使用しながらの授業であった。そのため、席順によっては大型スクリーンが見えにくい子ども達もいた。</p>
	<p>【家庭学習】調べ学習 「国際協力の活動」にはどのようなものがあるか、Padlet へ入力する。</p>	<p>・子ども達は、自分が興味を持った国際協力活動が「どこの国で行われており、どんな活動なのか？」を世界地図（Padlet）にピンを打ち、入力することができた。 ➡ワークシートに調べ学習の成果を記入するよりも、こうしたデジタルツールで入力する方が、補習校の子ども達にとっては負担が減るようだった。（漢字が苦手でもコンピューターが変換してくれるため） ・授業は2クラス別々に行っているが、この調べ学習の成果は一枚の Padlet に入力させたため、子ども達が共有できる情報量がクラスごとでするよりも2倍になり良かった。</p>	<p>・渡米して日が浅い子ども達は、デジタルツールを使用する学習方法や、文章を入力することに慣れておらず大変のようだった。 ➡デジタルツールの活用には長けていることは、在米歴の長い子ども達の強みである。</p>
2	<p><めあて>日本の人々は、どのような国際協力の活動をしているのかを理解する。 ①ゲストスピーチ #1 を聞く。 ・タンザニアの「草の根」活動について。 ・ケニアやタンザニアの様子について。 ②元青年海外協力隊員の話聞く。 ・ジンバブエの小中高で音楽教師として活動。 ・ジンバブエの生活の様子について。</p>	<p>【草の根事業について、タンザニアからのゲストスピーチ】～子ども達の感想より抜粋～ ・世界の大体がまだ開発途上国だということを知り、それまでの自分の「自分とは全然関係のない国だし、どうせ自分たちにはできることはないしょ。」という考えが、「毎日ちょっとずつでもいいから何か自分にもできることをしよう。」に変わった。 ・一番興味を持ったのは、発展途上国には病院や学校が近くにあまりないということだ。普段当たり前前に感じているものが、その人たちには当たり前でないと知り、自分でもできることをしたいと思った。 ・タンザニアでの活動を知り、それまで自分の「助ける」という考えが相手のことを思ったり、お互いに助け合ったりすることが大切であることに変わった。 ・水道から飲める水が出ないということや、ちゃんとした屋根が頭の上にはない子どもがいるということについて深く考えて、NGO や ODA が貧しい人を助けると知って立派ですごいと思った。 ・国際協力は、相手のことや何が一緒にできるかを考えて、行動を実際に行うことが大切だと知った。 ・世界で貧しい人を助けるために、その国に実際に行って、国際協力を行っている人がいることを知った。 ・タンザニアのことや日本とアメリカみたいな先進国について深く考えさせられた。国際協力もとても大切なものだとなかった。 ・今までは自分がしていることは当たり前だに思っていたが、今、他の所ではもっともっと苦しいところがあるので、自分も何か</p>	

		<p>そのためにしてあげたいなと思った。 【青年海外協力隊エピソード】～子ども達の感想より抜粋～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当たり前だと思わずに、普段の生活に感謝をしたい。 ・他の国で困っている人たちのために、ボランティアで行く人がいると知って感動した。そして、他の人を助けに行くことで、私もその経験から何か学べるということに気が付いた。 ・普段当たり前に出ていることや、当たり前にあるものがジンバブエでは出来ないものがあると知って驚いた。 ・僕もアフリカに行って、エンジニアのことを子ども達に教えてあげたりしたいと思った。 ・英語を知らなくてジンバブエに行ったことがすごいと思った。僕だったら絶対に出来ないと思う。 ・海外に行って人のために何かをしようとする勇気があるのもすごいと思った。 ・ジンバブエでの生活や学校は、日本やアメリカと大きな違いがあり過ぎて、とても驚いた。 ・いつか世の中の役に立ってみたいと思う。 ・いろんな子に音楽を教えてあげたいという気持ちに感動させられた。今まで何とも思っていなかったことがとても大切なことのように感じられた。 ・もう日本とかでは古くなっていたり、使われなくなったものは、発展途上国では大切に使われると知った。 ・日本人の人々の活動は、たくさんの人を助けていると思った。特に相手を思ったり、お互いに助け合っていることが感動した。 ・アフリカに行って音楽を知らない人に教えて、地球の人々として仲間を助け合うことをすごいなと思った。
	<p>【家庭学習】反転授業 #2 NHK 動画を視聴し、「自分らしさ」について考える。</p>	
3	<p>めあて> 自分はどんな『強み』や『可能性』をもっているのか、大発見をしよう！</p> <p>①反転授業 #2 (授業シート #2) の答え合わせを行い、「自分らしさ」について理解する。</p> <p>②ゲストスピーチ #2 (補習校卒業生) を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日英の二言語を使いこなし、日本とアメリカの両方の文化をまたいで生活していることが、将来の選択肢を増やすことに繋がる。など <p>③自分の『強み』や『可能性』を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィッシュボーン図に書き込んでいく。 	<p>【補習校卒業生によるオーストリアからのゲストスピーチ】～子ども達の感想より抜粋～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカで苦労した人が、今、とてもいい仕事をしているということに、とても勇気づけられた。 ・現地校で英語がしゃべれなかった時について共感した。これから努力し続ければ、何でもかんでも可能なんだなあとと思った。 ・今までは「自分だけが違う」と思っていたのも、「みんな違っていることがいい」ということに気がついた。そして、今、辛くて嫌でも、その努力は必ず返ってくると思った。 ・補習校の友達は、その時に助け合う存在だと思っていたことが、人生の財産だという考え方に変わった。この恵まれた環境で現地校でもうまくやっていたころと思った。 ・これから日本語と英語の両方の勉強をがんばって世界で活やくしたい。 ・これから補習校で努力し続ければ、将来、日本でも仕事をするのが可能だと目標を持つことができた。 ・自分は恵まれていると思った。なぜなら、僕は小さい時から、日本語も英語も勉強できる環境にいたからだ。もっと感謝しなければいけないなと思った。 ・それまでは補習校はめんどうくさくて、大変としか思っていなかったことが、大切でみんながいける所ではないという考え方に変わった。 ・英語は嫌だと思っていたが、自分の将来に役立つという考え方に変わった。 ・それまでみんな同じ一つのものだと思っていたが、お話を聞いて、一人一人が違うのだから、という考えに変わった。
	<p>【家庭学習】意見交流会の準備 2週に渡るゲストスピーチを聞いて、感じたり考えたりをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「意見交流会準備シート」に記載されている文例を使って、自分の考えをまとめることができていた。 ●文例を用意する時には、様々なレベルの文を用意し、子ども達が自分の意思で「この文で書いてみよう！」と選べるようにすると良い。また、日本語力に課題がある子ども達への手立てとして、難しい表現には英語の説明をつけるのも効果的であると思う。
4	<p><めあて> 未来を創る！意見交流会をしよう！ テーマ“世界中の人々が幸せに暮らせる『未来』をつくるために、自分には何ができるか、どんな生き方をしたいか”</p> <p>①意見交流会の進め方を知る。</p> <p>②グループ交流</p> <p>1) 自分の考えや感想をグループ内で発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の進行表を用意し、意見交流会の進め方を明確に事前説明したことで、子ども達は「何を、どんな風に、どんな順番で進めればよいのか？」がしっかりと理解できた上でグループ活動を始めることができた。こうすることで、子ども達は安心して、意見交流会に臨むことができたので、冒頭の司会者決めやその後が続いた交流会そのものもスムーズに進んだ。 ➡グループ活動開始直後に、立候補やジャンケンで司会者が非常にスム ・進行表に書かれている内容を確認し、すべての文例をクラス全員で口頭練習してからグループ活動を開始したため、授業のまとめとして行ったクラス全体での意見交流の時間を十分に持つことができずに残念だった。この時間をもっと長くもつことができれば、クラス全体でお互いの考えについて質問をし合ったり、考えを深めることができたと思う。

